

オンラインシラバス 中学2年生 本科

現代文		2
古典		3
歴史		4
数学α		5
数学β		6
理科 I		7
理科 II		8
英語		9
English		10

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文	本科	3	宮田

到達目標

- ①説明的文章については、精緻な文章読解を通じ、筆者の主張を正確に理解する力を養う。
- ②文章の読解を通じ、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げるとともに見識を深める。
- ③筆者の主張を多角的に検討し、地震の意見を主体的に構築・表現しうる力を養う。
- ④自分の意見を発表したり記述したりする訓練を通じ、レポートや論文を書くための素養を身につける。

授業の進め方・学習方法

集団授業を基本とし、ディスカッション、発表などの取り組みを通して自分の意見を構築・発表します。
漢字テストや単元のテストはその都度告知します。シリウスは週末課題や長期休業中課題として活用します。

授業スケジュール

1学期	教科書 小説 「タオル」(重松清) 韻文 「短歌の味わい」(穂村弘)
1学期	評論文選 評論 「白の発見」(原研哉) 教科書 小説 「夏の葬列」(山川方夫)
1学期期末試験	
2学期	評論文選 評論「『やつし』の美学」(磯崎 新) 先取り教材 「高瀬舟」(森鷗外)
2学期中間試験	
2学期	評論 「想定外の世界での芸術」 「社会は存在するか」 先取り教材「清兵衛と瓢箪」
2学期期末試験	
3学期	教科書 小説 「走れメロス」(太宰治) 評論文選 評論 「ことばの多重性=活性化」「サウジアラビア映画『少女は自転車にのっての覚書』」「自由のこれから」
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語2	教育出版	
はじめての評論文20選	明治書院	
意味から学ぶ頻出漢字3000	第一学習社	1年次より継続使用
プレミアムカラー国語便覧	数研出版	
Sirius発展編国語	育伸社	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

昨年度培ったテクストを正確にインプットする力をより伸ばし、自分の意見を自分の言葉で表現する力の育成に努めましょう。また、他者の意見に耳を傾け、言わんとすることを適切に理解できるよう集中力をもって授業に臨んでください。わからない言葉、漢字は事前にノートにまとめておく等の、基礎的な学習も怠らないように。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典	本科	2	萱野

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品を通して教養を広げ、様々な価値観や考え方を身につける ・表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える力を育成する。 ・文語の文法を学び、今年度は用言の活用について理解する。

授業の進め方・学習方法
<ul style="list-style-type: none"> ・古文と漢文の有名作品をバランス良く読み進めていきます。 ・単元ごとに作品を読んで考えたことや感じたことをフォーム等用いて共有していきます。 ・基本的な古文単語については小テストを随時行い、定着を図ります。

授業スケジュール	
1学期	古文『十訓抄』より「小式部内侍」 文語文法「用言の活用の種類と活用形」 古文単語315 第1章動詞
1学期中間試験	
1学期	古文『大和物語』より「安積山」「鳥飼の院」 漢文 故事成語「漁夫の利」 文語文法「用言の活用の種類と活用形」 古文単語315 第1章動詞・形容詞・形容動詞
1学期期末試験	
2学期	古文『枕草子』より「上に候ふ御猫は」 漢文 故事成語「蛇足」 文語文法「用言の活用の種類と活用形」「助動詞の意味」 古文単語315 第1章動詞・形容詞・形容動詞・名詞
2学期中間試験	
2学期	古文『更級日記』より「散る桜」「時雨の夜」 漢文 故事成語「塞翁が馬」 文語文法「用言の活用の種類と活用形」「助動詞の意味」 古文単語315 第1章動詞・形容詞・形容動詞・名詞・副詞
2学期期末試験	
3学期	古文『十訓抄』より「行成と実方」 古文『宇治拾遺物語』より「博打の子」 漢文「千里馬」 文語文法「用言の活用の種類と活用形」「助動詞の意味」 古文単語315 第1章動詞・形容詞・形容動詞・名詞・副詞／第2章動詞
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心としてその他活動で総合的に評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
体系古典文法	数研出版		
古文単語315	桐原書店		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス			
<p>古典に慣れ親しみながら、そこから得た情報を文法的に整理していきます。 古典には二つの顔があります。一つには、私たちの言語文化に近い日本語としての顔。もう一つには、私たちの言語文化から遠い一種の外国語としての顔。 したがって、古典を勉強するときにはその二つの側面に気をつけることが重要です。 現代ではほとんど古語も漢語も日常的には使われません。ということは、一種の外国語学習と共通するものがあります。外国語を読む際に必要となるものは、語彙と文法です。二つともこの二つを補完しながら積み重ねていくことが古典でも大切になってきます。近さと遠さ。これらを意識して楽しく古典を学習していきましょう。</p>			

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	歴史	本科	3	岡田

到達目標

- (1) 各国の歴史の流れを把握した上で、それぞれを関連付けるという、タテとヨコの軸を意識した理解を深める。
 (2) 資料・史料読解をすすめることで、内容を適切に要約する力、多面的・多角的に考察する力を養う。
 (3) グループワークを通じて、自分の意見をまとめ、発信する力を養う。

授業の進め方・学習方法

- (1) 教科書準拠のワークで流れと基本事項を確認する。まずは自分で教科書を読み、ワークの空欄補充を行う。その後、要点を適宜解説する。
 (2) 配布プリントにて、単元に関する資料・史料を確認。内容要約や意見をまとめるなど、小論文的要素を取り入れた作業をおこなう。
 (3) 適宜、グループワークを取り入れ、議論する。

授業スケジュール

1学期	【2】近代化と私たち 1. 江戸時代の日本と結びつく世界 2. 欧米諸国における近代化	1学期中間試験
1学期	【2】近代化と私たち 2. 欧米諸国における近代化 3. 近代化の発展と国民国家形成	
1学期期末試験		
2学期	【2】近代化と私たち 4. アジア諸国の動搖と日本の開国 5. 近代化が進む日本と東アジア	
2学期中間試験		
2学期	【2】近代化と私たち 5. 近代化が進む日本と東アジア 【3】国際秩序の変化や大衆化と私たち 1第一次世界大戦と日本の対応	
2学期期末試験		
3学期	【3】国際秩序の変化や大衆化と私たち 1第一次世界大戦と日本の対応	
学年末試験		

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を基準として評価する。毎単元で用いるプリントの取り組み状況や、適宜課される課題により平常点をつける。
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
新しい社会歴史	東京書籍	
明解歴史総合	帝国書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考
明解歴史総合ノート		帝国書院	
明解歴史総合図説シンフォニア		帝国書院	

担当者からのアドバイス

歴史を学ぶ醍醐味は、「なぜ?」を突き詰めていくことだと思います。
 基礎的な歴史的知識を身に付けた上で、一つ一つの出来事について、その原因や背景を探求していく、この作業の繰り返しが、これから時代に求められる力を養うことにつながるでしょう。
 自ら読み解き、自らの言葉で表現することを大切に授業を進めていきたいと思います。共に楽しく学ぶ授業を作り上げていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学a	本科	3	山口

到達目標
高校で数学を学ぶために必要な式の計算や方程式、関数の基本的な考え方を習得することが目標である。 特に、代数・幾何を問わず重要な無理数の考え方・四則について、十分な演習によりスムーズに出来るようになる。 また基本内容を十分に理解した上で関数・方程式の発展的な内容に触れて、様々な考え方・表現の仕方について学んでいく。

授業の進め方・学習方法
<授業の進め方>授業は講義を中心に基礎を確認し、演習や小テストに取り組みながら定着を図る。 <学習方法> ①授業ノートを丁寧にとる。 ②授業があった日には帰宅後にノートを読み返す。 ③宿題だけ終わりにせず、積極的に問題集に取り組む。 ④積極的に質問する。

授業スケジュール	
1学期	体系数学2 代数編 第1章 式の計算 ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用
1学期中期試験	
1学期	第2章 平方根 ・平方根 ・根号を含む式の計算 ・有理数と無理数 ・近似値と有効数字
1学期期末試験	
2学期	第3章 2次方程式 ・2次方程式の解き方 ・2次方程式の利用 第4章 関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ のグラフ ・関数 $y=ax^2$ の値の変化
2学期中期試験	
2学期	第4章 関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ の利用 ・いろいろな関数
2学期期末試験	
3学期	第5章 データの活用 ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位範囲 第6章 確率と標本調査 ・場合の数 ・確率の計算
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	0~20	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する。
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
体系数学2 代数編	数研出版		
体系問題集 数学2 代数編	数研出版		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス			
学校の授業は学習においての基本であり、その知識を理解し使えるようにすることが、その後に続く内容において重要な役割を持っています。授業で生じた疑問はできるだけ早く解消することを心掛けてください。正しく理解していくことを積み重ねることにより、発展的な課題にも前向きな取り組みをしていく姿勢ができます。ただし、得た知識を使い正しい結論を求めようとするだけでなく、結論までの過程も重要であり、これを見つけるための力をつけるには、積極的に日々の演習をしていくことがとても大事なことです。計算でも、記述でも有効であることは気にとめておきましょう。			

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学β	本科	3	玉上

到達目標

これまでに学んできた知識をもとに、相似や三平方の定理など、幾何学で重要な単元を学ぶ。多くの証明方法に触れ、思考の多様性を養っていく。この過程で得た考え方などを共有していくことで、より確かな知識を身に付けることを目指す。

授業の進め方・学習方法

<授業の進め方>

定理の証明や問題演習において、自ら考える姿勢を大切にするとともに、自身の考えを発表する機会も設けていく。また、内容の定着を確認する小テストを適宜実施する。分野によっては中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、効率的に学習し本質的な理解を目指す。学習の理解度を見ながら、進度に幅を持たせていく場合がある。

<学習方法>

授業ノートは復習をする際、最も有効な参考書となるため、できる限り丁寧に書くこと。また、家庭学習における復習を大切にすること。授業があった日にはノートを見直して内容を確認し、内容の定着のために出される宿題は必ず取り組み、わからないことがあれば積極的に質問に来ること。

授業スケジュール

1学期	图形と相似 1 相似の意味 2 相似な图形 3 三角形の相似条件 4 平行線と線分の比 5 中点連結定理 6 相似な图形の面積比、体積比	1学期中間試験
	線分の比と計量 1 三角形の重心 2 線分の比と面積比 3 チェバの定理 4 メネラウスの定理	1学期期末試験
2学期		
2学期	円 1 外心と垂心 2 円周角 3 円に内接する四角形 4 円の接線 5 接線と弦のつくる角 6 方べきの定理 7 2つの円	2学期中間試験
	三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面图形 3 三平方の定理と空間图形	2学期期末試験
3学期	空間图形	学年末試験

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学2 幾何編		
体系数学問題集2 幾何編		

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

学校の授業は学習においての基本であり、その知識を理解し使えるようにすることが、その後に続く内容において重要な役割をもっています。授業の中で生じた疑問はできる限りはやく解消することを心がけましょう。理解が進むにつれて発展的な課題に取り組みたいという欲がでてくることでしょう。ただし、得た知識を使い、表現する力をつけることも大切であり、このために日々演習することは不可欠です。計算でも記述でも有効である事は気にとめておきましょう。

また、上に書いたことは時間がかかるようでも、その後に続く発見する楽しさ、分かる喜びに比べればほんのわずかな時間に過ぎません。充実した時間を過ごすためにも共に頑張っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科 I	本科	2	田仲

到達目標
高等学校で扱う基本的な理論化学をもとに、中学校で扱う「化学」に関連する現象の本質を正しく理解する。また、化学式や化学反応の書き方を習得し、さらに物質量の概念に基づく種々の化学反応の定量的な議論ができるようになる。

授業の進め方・学習方法
教科書、板書、プリント、ICT機器などを活用します。ノートまたはプリント、教科書、PCは必ず持参して下さい。授業は1年間を通して化学分野となります。もし、「授業が難しい、進度が早い」と感じた場合は、スタディサプリを使った予習・復習も効果的です。また、クラスメイトと教えてもらうことでお互いの理解が深まります。次の授業が始まるまでに前回までの「わからないところ」を残さない姿勢を貫きましょう。やや難易度の高い内容を扱うこともありますが、予習・復習をしっかりと行えば大丈夫です。 ※定期試験にむけて 知識の暗記やパターン問題の機械的習得に走らないようにしましょう。一つ一つの疑問をていねいに解決させ、自分の言葉で用語や式の説明ができるようになります。

授業スケジュール	
1学期	<p>[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章 化学変化とイオン(中学1年の復習) 第2節 電子配置とイオン ・原子の構造 ・電子配置とイオンの生成 ・イオン結合とイオンの化合物 ・電離と化学式の書き方 ・イオン結合以外の化学結合</p> <p>第5章 物質の化学変化 第2節 いろいろな化学変化 (授業で学習した化学反応式の書き方を中心)。</p> <p>第4節 相対質量、原子量、物質量</p> <p><定期試験範囲のまとめ> 中学1年の復習(原子の構造、電子配置、イオンの生成、イオン結合、共有結合、金属結合)、 化学反応式、相対質量、原子量、物質量 (+理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項</p>
1学期中間試験	
1学期	<p>[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第5章 物質の化学変化(続き) 第4節 化学変化と量の関係</p> <p>※この単元で有効数字の扱い方を学習します。</p> <p><定期試験範囲のまとめ> 化学反応の量の関係、1学期中間試験の範囲 (+理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項</p>
1学期期末試験	
2学期	<p>[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章 化学変化とイオン 第1節 電解質と非電解質 第6節 酸とアルカリ 第7節 中和と塩</p> <p><定期試験範囲のまとめ> 電離、電解質と非電解質、酸と塩基の定義、中和反応と量の関係 (+理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項</p>
2学期中間試験	
2学期	<p>[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章 化学変化とイオン 第4節 イオン化傾向 第6節 酸化還元の基礎(教科書範囲外)</p> <p><定期試験範囲のまとめ> 酸化・還元の定義、酸化数、電子を用いたイオン反応式、金属のイオン化傾向 (+理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項</p>
2学期期末試験	
3学期	<p>[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第6章 化学変化とイオン 第5節 電池 第3節 電気分解</p> <p><定期試験範囲のまとめ> ポルタ電池、ダニエル電池、その他の化学電池、電気分解 (+理科実験の学習内容) ※授業で扱った内容とその関連事項</p>
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内で扱った内容の基礎事項の確認とともに、本質的な内容理解を問う問題を多く出題します。暗記などに走らず、一つ一つの内容をどこまでも自分自身が納得いくまで理解しようとします。なお、期末試験では中間試験の範囲も出題し、学年末試験では、1・2学期の内容も出題します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
未来へ広がるサイエンス1	啓林館		
系統的に学ぶ中学化学	文理		
系統的に学ぶ中学化学・問題集	文理		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス			
一つ一つの物質の性質や化学反応の本質を理解することで、化学の奥深さを知ることができます。煩雑な計算にとらわれることなく、どこまでも深く追究する姿勢でのぞみましょう。			

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅱ	本科	2	井上徳也

到達目標

第一学期は、動物の体内で行われている痛みに関する事項、生物の分類、細胞の構造を学びます。
 第二学期は、生細と遺伝のしくみを学びます。
 第三学期は、進化と生態系を学びます。
 それぞれの学期で学んだことを総合的に整理し、身近な生物の活動について、各自が探求できるようになってほしいところです。

授業の進め方・学習方法

文部省教科書を用いて授業を進めます。
 実験試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。
 第一学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。

授業スケジュール

1学期	第3章 動物の世界 第3節 血液の循環と不要物の排出 ・腎臓の構造 ・腎臓のはたらき ・尿の排出 第4節 動物の分類 第4節 組織でも動物でもない生物 第1節 原核 ・カビ 第2節 原生動物 ・ゾウリシムのからだ ・原生生物と多細胞生物 第3節 原核生物 ・真核細胞と原核細胞 ・真正細菌と古細菌	<定期試験範囲> 教科書 第3章第3節 脊髄、免疫分野、第4節すべて、第4章すべて、問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む
	1学期中間試験	
	第5章 細胞 第1節 細胞のつくりとはたらき ・細胞膜 ・細胞分裂法 ・細胞内共生説	<定期試験範囲> 教科書 第5章すべて、問題集の相当範囲、および理科実験の範囲、1学期中間試験の範囲を含む
	1学期期末試験	
	第6章 生殖と発生 第1節 生殖 ・無性生殖 ・有性生殖と染色体 ・減数分裂 ・重複受精と染色体数と核相 ・動物の配子形成	<定期試験範囲> 教科書 第6章すべて、問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む
	第2節 動物の発生 ・発育と卵の種類 ・カエルの発生 ・ワニの発生	
	第7章 進化 第1節 進化とそのしくみ ・遺伝と遺伝子 ・一遺伝子複数 ・二遺伝子複数	
	<定期試験範囲> 教科書 第7章第1節 遺伝と遺伝子、一遺伝子複数、二遺伝子複数 問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む	
	2学期中間試験	
	第6章 生殖と発生 第1節 生殖 ・無性生殖 ・有性生殖と染色体 ・減数分裂 ・重複受精と染色体数と核相 ・動物の配子形成	<定期試験範囲> 教科書 第6章すべて、問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む
	第2節 動物の発生 ・発育と卵の種類 ・カエルの発生 ・ワニの発生	
	第7節 進化 第1節 進化とそのしくみ ・遺伝と遺伝子 ・一遺伝子複数 ・二遺伝子複数	
	<定期試験範囲> 教科書 第7章第1節 遺伝と遺伝子、一遺伝子複数、二遺伝子複数 問題集の相当範囲、および理科実験の範囲を含む	
	2学期期末試験	
	第9章 生物どうしのつながり 第1節 生態系 ・生態系の必要 ・食生活鎖と種間相互作用	<定期試験範囲> 教科書 第8章、第9章すべて 問題集の相当範囲、および理科実験の範囲、1年間のすべての範囲を含む
	第2節 生態系内の物質の循環とエネルギーの移動 ・生態系のエネルギー ・炭素と窒素の循環	
	第3節 生態系の保全 ・生態系の保全	
	第4節 人の生活と自然 ・人の生活と自然	
	第8章 生物の進化 第1節 地質時代と生物の移り変わり ・化石進化と細胞内共生説 ・地質時代	
	第2節 生物の進化を探る ・示唆化石と示相化石 ・相變器官と相向器官	
	第3節 進化はどのようにして起こるか ・適応放散収束進化 ・いろいろな進化論	
	<定期試験範囲> 教科書 第8章、第9章すべて 問題集の相当範囲、および理科実験の範囲、1年間のすべての範囲を含む	
学年末試験		

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	0~20	「理科」の評価は、理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。 「理科実験」の評価は、「理科」とは別に、レポートの質や実験への取り組み等で個々評価されます。
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	これらの評価をもとに、年度末には「理科」としての成績が算出されます。

教科書・教材

書名	出版社	教科書番号	備考
系統的に学ぶ中学生物	文理		
系統的に学ぶ中学生物 問題集	文理		
未来へ広がるサイエンス	岩波館		

担当者からのアドバイス

かつて「生命力」という不思議な力で信じていた生物は、今やその仕組みの多くが解明されつつあります。
 不思議な生き物の仕組みを学習し、巧妙なプログラムを知りましょう。
 花が咲いていることも、何気なく食べ物を食べて消化していることも、仕組みをるとそこには思いもよらない緻密な仕組みがあります。深く深く知りたいましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	本科	3	浜中

到達目標
●Listening: 日常生活における身近な話題や平易な表現を用いた説明や指示を聞いて、内容を理解することができる。
●Speaking: 日常生活において簡単な意思疎通したり、興味・関心のあることについて自分の意見を述べたりすることができる。
●Reading: 比較的平易な文章構造であれば、物語や説明文などの身近なことに関する文章を理解することができる。
●Writing: 興味・関心のあることについて、ある程度まとまった文章を書くことができる。

授業の進め方・学習方法
①教科書の各Lessonの文法を解説し、例文や課題を通して基本事項を理解する。定期的に課題や既習内容に関する確認試験を行う。
②教科書本文の音読・暗唱を通じて英語表現を習得しつつ、英語の音に慣れる。
③キクタンを使用して、朝学習の時間に週3回の単語テストを実施する。

授業スケジュール	
1学期	«New Treasure Stage1» Lesson 11 Lesson 12
1学期中間試験	
1学期	«New Treasure Stage2» Lesson 1 Lesson 2
1学期期末試験	
2学期	«New Treasure Stage2» Lesson 3 Lesson 4
2学期中間試験	
2学期	«New Treasure Stage2» Lesson 5 Lesson 6
2学期期末試験	
3学期	«New Treasure Stage2» Lesson 7 Lesson 8
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート		
小テストなど	20	定期試験の結果及び、授業内の取り組み・提出物・小テストなどを総合的に評価する。
授業での取り組み		

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
New Treasure Stage1 3rd Edition 教科書	Z会出版		
New Treasure Stage1 3rd Edition 文法問題集	Z会出版		
New Treasure Stage1 3rd Edition CD	Z会出版		
New Treasure Stage2 3rd Edition 教科書	Z会出版		
New Treasure Stage2 3rd Edition 文法問題集	Z会出版		
New Treasure Stage2 3rd Edition CD	Z会出版		
キクタン【中学英単語】	アルク		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス			
中1で学んだ英語の基礎の上に2年目の学習を積み重ねていきます。そして中2までの英語学習が英語力の土台となります。授業では積極的に英語を使うように心がけ、家庭では書く・読む・聞くを大切に復習を心がけましょう。もちろん単語を覚えることも語学の基礎として重要です。中2での学習内容に対する理解が深まれば、英語で表現できる幅が大きく広がり、英語を学習すること・使うことが楽しくなるはずです。			

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	English	本科	3	Mr. Bernachi

到達目標
The students in this course will be taught to use English to communicate in the modern world. The goal is for them to speak English in a natural, confident way to express their ideas and exchange opinions and information. They will also be able to start to use English to study academic subjects. In particular, instructions for classes taken in English will be emphasized. Focus in the second year will be on English for academic purposes and study in an international environment. This is a four skills course, but the majority of class time will be spent on improving students' speaking skills.

授業の進め方・学習方法
Whilst students will be using Solutions Pre-Intermediate (3rd Edition) as the core text for this course, they will be also be using a variety of supplementary materials, games, language activities and pronunciation aids. To improve listening, students will be using a variety of independently developed material. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar, vocabulary building and writing exercises. Students will be encouraged to read as many English books as possible.

授業スケジュール	
1学期	We are going to review: 'likes and dislikes' and 'contrasting present simple and present continuous', before learning the language for describing people and articles. We will then look at the vocabulary of feelings, the 'past simple' tense, listening for gist and 'past simple' negative and interrogative forms.
1学期中間試験	
1学期	In the second half of this term we are going to look at adjective endings, improve our reading and comprehension skills as well as learning how to narrate events and describe events.
1学期期末試験	
2学期	In the first half of this term, we'll be looking at landscapes. the 'past continuous' tense, antonyms and describing photos.
2学期中間試験	
2学期	The second part of this term will start with a look at the language needed to talk about films and TV shows before moving on to describing quantity and how we use words to advertise. Time permitting, we will also talk about prohibition and necessity as well as prefixes.
2学期期末試験	
3学期	We will discuss jobs, 'will' and 'going to' for predictions, offers and plans, the 'first conditional' and more prefixes.
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60%	
レポート		
小テストなど	20%	
授業での取り組み	20%	Two main kinds of test will be given: speaking and writing. The writing tests will be held during the regular test periods. The speaking tests are not summative, but formative in nature, so will be held throughout the term. There will also be some in-class tests such as listening tests. The regular timely submission of homework also forms part of the students assessment.

教科書・教材			
書名	出版社	備考	
Solutions: Pre-Intermediate - Student's Book	OUP	978-0-19-451056-1 Third Edition	
Solutions: Pre-Intermediate - Workbook	OUP	978-0-19-451059-2 Third Edition	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス			
1. Aim to improve, not to be perfect. Do not worry about making mistakes! 2. Collaborate with your classmates to create a positive and supportive learning environment. 3. Preview all your lessons. 4. Review all your lessons. 5. Don't give up and if you forget something; learn it again. 6. Do all your homework and submit it before the deadline! 7. Ask if you don't understand anything. 8. Read as much as you can. 9. Go online and access English. 10. Watch movies, listen to songs and learn to enjoy English.			